

# 授業科目 家族関係論

【担当教員名】 山手 茂	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・健康・社会
	開講時期	前期	必修・選択	選択・選択・選択・選択・必修
	単位数	2	時間数	30

<概要>  
人間にとって最も身近な社会集団・共同生活単位である家族について、歴史的変動、現代家族の構造と機能、発達課題と家族関係、家族の危機、生活問題と社会福祉・保健・医療などについて概説する。

<学習目標>  
1. 人間にとって家族がいかに大切かを理解する。  
2. 現代社会と家族生活・家族問題との関係を理解する。  
3. 家族の生活設計と社会福祉・保健・医療との関係を理解する。  
4. 患者・障害者の在宅ケアとケアマネジメント、家族エンパワーメントの課題を理解する。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	家族の研究法…家族とは何か。家族はどのように研究されてきたか。		講義受講, 読書等自主学習
2	家族の発達課題…家族のライフサイクルと各段階の生活課題。		
3	子どもと家族…人間の誕生から成人までの親子関係の諸問題。		
4	結婚と家族形成…成人して後の結婚・家族形成の諸問題。晩婚化。		
5	夫婦関係と親子関係…夫婦の共同課題としての妊娠・出産・育児の諸問題。		
6	老後の親と子の関係…老親と子の協力関係。老親介護の諸問題。		
7	社会変動と家族変動…前近代・近代・現代各段階の社会と家族の特徴。		
8	現代の家族問題…生活の不安定化と家族の解体化。		
9	家族福祉と社会福祉…ドメスティック・バイオレンス、児童虐待、老親虐待などへの対応。		
10	生活設計とエンパワーメント…家族の主体的再構築と援助サービスの課題。		
11	在宅ケアとネットワーク…家族・親族ネットワークと専門職・ボランティアネットワークの課題。		
12	家族と地域社会…家族と地域保健福祉計画との関連		
13	家族と日本社会…家族と社会政策（保健・医療・福祉政策）との関連		
14	まとめ		
15	〃		

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	使用しない。			
参考書	随時紹介する。			
その他の資料	毎時間印刷教材を配布する。			

【評価方法】 ①レポート、②出席、③期末試験を総合して評価する。	【履修上の留意点】 家族は最も身近な共同生活の単位であるから、自分の家族生活の体験を客観的に検討し、現代家族を学問的に研究することを目的として、主体的に学習してほしい。
-------------------------------------	---